

燕 巡

2024 秋冬

新潟県燕市観光ガイド
本誌は
春夏号と秋冬号
年2回発行します

燕市の旬な情報をお届け

NO 4
September
2024

特集

モノとヒトが行き交う宿場町だった吉田地区。そんな面影を辿りながら巡ってみよう。当時と変わらない景色に愛され続ける地元グルメ、新しいコミュニティやカルチャーに出会える。吉田の温故知新を体感しよう。

連載

燕産 _____ 「藤次郎」
彩りハナトキめぐり — 「赤黄金の田園」

特集

人とまちが繋がる 吉田散歩

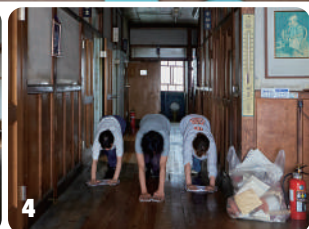


かつての宿場町で

温故知新の旅をする

葭(ヨシ)が茂るほどの低湿地帯。川の氾濫と戦いながら、農業と新田開発を進めてきた吉田地区。江戸時代には、長岡藩によって宿場町として開拓。芸者さんが行き交う繁華街へ成長し、人と人、まちとまちの多様な文化交流が行われてきた。

それは現代にもしっかりと受け継がれている。小さなカフェから端を発し、市の人流を変えるムーブメントが起きている。訪れた若者たちは、自身も「何か始めたい」と心を躍らせている。かつての姿を温(たず)ねながら散策すれば、吉田の新しいを知ることもできるだろう。



1. 本やアクセサリ、古道具など。地元作家の作品を中心に可愛い雑貨が並ぶ。2. 一日限定のチャレンジ出店にて、販売されたレモンのスパイスカレー。3.4. 空き家、空き店舗を再生するリノベーションプロジェクトにも尽力。現場見学も随時対応する。

Toko Toko

トコトコ

チャレンジを応援する拠点のカフェ

建築設計事務所が運営するコミュニティカフェ。おやつやカレーなど日替わりで提供する。ハンドメイド雑貨の委託販売や間借り営業も多数開催。設計事務所としての相談窓口もあり、地域の空き店舗や空き家とのマッチング、起業サポートも積極的に行っており、「何かを始めたい」の声をカタチにするお手伝いをしている。

燕市吉田上町 4-28

0256-77-8652

11時~16時

水日曜 定休

@__toko_toko__



かどや

学生を愛し、そして愛された 70 年

吉田駅ロータリーの角に親子3代で営み続ける甘味処。1950年代、氷菓子と大判焼きの店として創業。のちに駅を利用する学生向けに焼きそばやお好み焼きを始める。その変わらない味わいに、心打たれて「大切ななにかを思い出した」と思わず口に出す若者も。

燕市吉田旭町 1-8-5 11時～15時
0256-93-2471 不定休

1.4. ロータリーに沿った敷地で少し斜めに建てた店舗。夜は学習塾も開いている。2. 使うのはラードとソースのみ。太麺のモチモチ感がたまらない「焼きそば(肉なし)」。3. 創業から提供する「大判焼き」。最近では、外国人旅行者がこれを目的に訪れることもある地元の名品。



1. 6代目となる斎藤さんご夫婦。工場に併設された直売所で購入できる。2. 長岡産の着豆。「着豆のおぼろ」は5月～10月限定。枝豆の香りとクリーミーさが特徴。3. 定番の「おぼろ豆腐」や「ざる豆腐」、「汲み上げ湯葉」などズラリ。



嘉平豆腐店

カヘイトウフテン

希少な地大豆の風味に魅了される

明治初期に創業。国産大豆の風味に魅せられて、素材にこだわった豆腐を作り続ける。中でも、あまりのおいしさに地元のみで消費される枝豆を直接農家に交渉して作る「着豆のおぼろ」、市場に出回らない希少な大豆を仕入れて作る「船越豆のとうふ」は、季節限定の逸品。

燕市吉田上町 3-5 8時～19時 日曜定休
0256-93-2422 @ tofukahei

合わせて訪れたい 神社仏閣・歴史的建造物



香林堂 (旧今井銀行 今井家住宅)

※大地主だった今井家が、明治時代に建てた洋館。六角形の塔や煉瓦造など、外から当時の繁栄を伺える。溢れ出る紅葉も綺麗。



吉田諏訪神社

古くから産土神として信仰されてきた、総檜(ヒノキ)造りの神社。越後の大工が施した見事な彫刻を間近で拝める。



本久寺

1638年建立。大銀杏や芭蕉の句碑と並ぶ梅など、自然に溢れた境内。先代から育てる花木も調和されて、いつ訪れても美しい。

※大地主とは、まとまった土地を持つだけでなく、その土地や資金を活用して地域を束ね、発展に貢献したもののこと

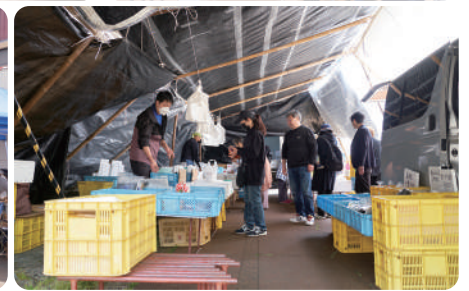


やりたいをカタチにする マルシェへ出かけよう

チャレンジショップやマルシェ出店を経て実店舗を構える人も。「楽しい」をつくるメンバーがぞくぞく集まる、イベントに行ってみよう。



可愛いが見つかる
人気のマルシェ
1と6の日に開催される
定期露店市。賑わいを取り
戻そうと始まった「ト
コマルシェ」。商店街の
お店に加えて、市内外で
活躍するお店が集結す
る。若手のチャレンジ出
店も多いので、ここしか
ない「いいもの」に出会
えるかも！



定期的にワークショップ
も開催できるお店にしたいです！



タイル作家 **aya** アヤ

ランタン型モザイクタイル「コラベル」に一目惚れしてタイル雑貨制作をスタート。委託販売を続けながら、アトリエ兼ショップを鋭意製作中。

燕市吉田鴻巣 692-5

最新情報は SNS をチェック [@_aya_3.3](#)



絵本の主人公になったよ
うな絵になる空間でゆっ
くりしてください！

マルシェきっかけに独立
若手作家を **CHECK!**

ぬいぐるみと雑貨カフェ

milicute ミリキュート

今年1月に念願の実店舗をオープン。ファーストトイにできるようぬいぐるみなど、可愛い雑貨が揃う。

弥彦村矢作 4679-1

13時～16時、土日祝 11時～16時

不定休 [@_milicute_](#)

EVENT INFORMATION

今後のトコマルシェ イベント情報

開催場所：燕市吉田上町4-28（トコマルシェ通り）



定期開催 8:00-12:00

平日にキッチンカーを

毎月1と6の日に開催される朝市。平日も賑わいを作る取り組み。キッチンカー数台と開催するミニマムイベント。



9.16 8:00-13:00

GOOD MORNING COFFEE

県内外の人気コーヒー店が集結。美味しい朝ごはんはもちろん、ワクワクするような面白い物も楽しめる。



11.16 8:00-13:00

トコマルシェ

キッチンカーや地元クリエイターが集まって開催。朝市と一緒に盛り上げる。

駅前にぞくぞくオープン 粟生津に行ってみよう

コミュニティスペースを中心に進化する粟生津駅周辺。
3人のキープレイヤーに会いに行こう。



WANT TO MEET

スイーツやお弁当も用意しています。粟生津駅と一緒にイベントも考案中！

オーナー
渡邊さん

more cafe

モアカフェ

だれでもいつでも「会える場所」に

受け持った子どもたちにいつでも会えるように、と元保育士の渡邊さんが始めた小さなカフェ。人気は日替わりランチ。魚やお肉のメインとデザートが3種。ライスとパンが選べる。毎回、お客の要望に応えながら献立を考えている。

燕市下粟生津 616-10
090-4917-1598
火水曜 11時30分～16時
金曜 12時～16時30分
月、木、土、日定休

📍 morecafe0915

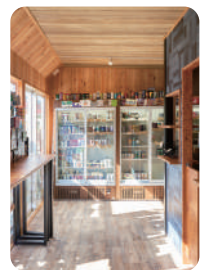


地元農家から醸造所、店舗から消費者へ。地元で回る産業を作りたいです！

WANT TO MEET



May Corporation
株式会社
代表
前部屋さん



AOUZE BREWING TSUBAME BEER

アオウゼブリューイング ツバメビール

燕の旬を生かしたクラフトビール

燕の食材を使ったビールを醸造。コシヒカリやイチジク、リンゴ、あんこなど季節によってさまざまな味わいに挑戦。醸造所の見学、販売試飲もできる。8月には、市内商業施設にビアバーもオープン。県内の地ビールも多数揃える。

工場 燕市粟生津 272-1 (AOUZE BASE 内)
火～木 11時～18時、金土 11時～20時 日月定休

店舗 燕市吉田西太田 844-1 (Next Generation Town 内)
11時～19時 水曜定休

📍 aouze_brewing



ビジネスはもちろん、祭りやイベントも大事。地域交流の中心になりたいです！

WANT TO MEET



株式会社オシア 代表
コミュニティマネージャー
笹口さん

AOUZE BASE

アオウゼベース

楽しい取り組みに出会える新拠点

下粟生津の交流の中心だった農協跡をリノベ。コミュニティマネージャーが在籍するシェアオフィスに生まれ変わった。週末限定でオープンするアウトドアショップもある倉庫では、コンサートイベントなども企画。地域を繋ぐ拠点になっている。

燕市粟生津 272-1 9時～18時 土日祝定休
0256-77-9089 📍 aouze_base

EVENT INFORMATION

今後のイベント情報



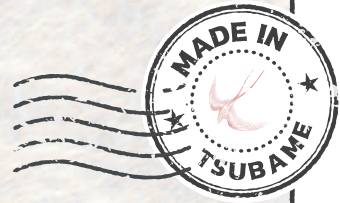
11.3 11:00-16:00

第3回 アベ祭り

AOUZE BASEで開催する、年に一度の祭り。様々なテーマで地元・粟生津を盛り上げる。地元農家の野菜を使ったスペシャルメニューにも注目。



第 3 回



ツバメ
サンメ

燕産

著名人や特産、カルチャーも
燕から産まれたあれこれのお話

藤次郎 株式会社

「打ち」の技術継承と「抜き」の技術革新 両軸で刃物産業を切り開いたランカー

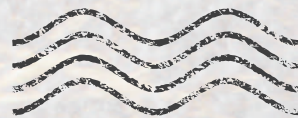


国内屈指の刃物工場を
間近で見学できるオー
プンファクトリー。「抜
き刃物」の工程や「打
ち刃物」の職人技を楽
しめる。音や熱気、匂
いに触れて、刃物文化
を体感しよう。

農機具メーカーとして、吉田で創業。冬の農閑期を生かし、刃物製造も始める。周辺企業の力も借り、洋食器の型抜き技術を活用した「抜き刃物」を手がけるようになった。当時の刃物製造は「打ち」が主流。古来の日本刀製造技術からなる、鋼を打って仕上げる伝統技だ。あらかじめ鋼を合わせた利器材を型で抜き仕上げる「抜き刃物」は、利器材の品質も相まって「邪道」と考える職人も多かったという。それでもメーカーと共同開発し、数十年かけて利器材の性能向上に成功。切れ味と耐久性、バランスの取れた素材を生み出してきた。現在では「打ち」の技術継承も「抜き」の技術革新もともに尽力し、日本で数社しかない、一貫生産できる大企業へと成長した。

『突き抜けることで時代を切り開く』。次代に継承すべきスピリットだろう。

燕市吉田東栄町 9-5
(オープンファクトリー)
0256-93-4195 (代表)
見学は予約不要
ガイド付きは要予約
<https://tojiro.net/>



「越後平野」の
赤黄金の田園



2分半しか
出会えない
陽染めの稲穂

越後平野のほぼ中央。かつては信濃西川（現西川）、信濃東川（現信濃川）と呼ばれた2本の川によって、肥沃に育まれてきた。ここは沼地も多く、先人たちは腰まで浸かりながらの米作りを余儀なくされたという。産業改革が進んだ現在、この地は、昔と変わらない田園風景が広がっている。在るところでは、弥彦山に見守られながら、稲刈りをする農家の姿を見られるかもしれない。遠くの工場から漏れる陽が、穂を染める瞬間に出会えるかもしれない。そんな数分の出会いを目指して、田園に向かってドライブするのもいいかもしれない。

燕市吉田く分水
例年稲刈りは9月下旬から



「DICISION Cafe」の

ワッフル チョコバナナクリーム 650円 イートイン (662円)

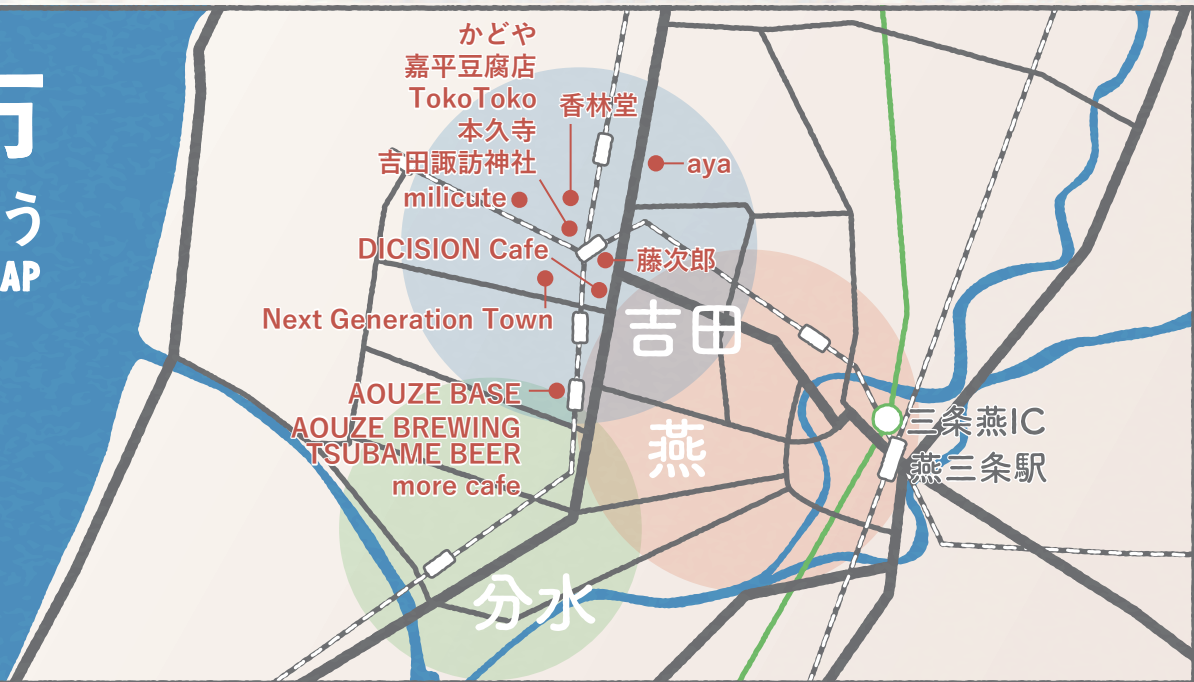
親子で営むカフェが国道沿いにオープン。サクサク食感のワッフルが人気。甘い系から食事系まで揃える。ドライブ中も長く楽しめるように、たっぷりサイズで用意するフローズドリンクにも注目！

DICISION Cafe
燕市吉田下中野 420-3
0256-77-5437
10時～17時
(夜は予約制) 月曜定休



おでかけに
おいしいグルメ
かかせません

燕市 へ行こう TSUBAME MAP



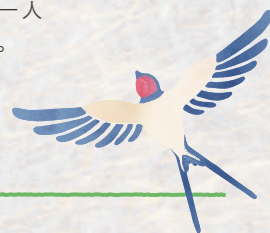
新潟空港	リムジンバス 25分	新潟駅	上越新幹線 13分	燕三条駅
新大阪駅	東海道新幹線 2時間30分	東京駅	上越新幹線 1時間50分	燕三条駅
東京	関越自動車道 3時間30分	長岡JCT	北陸自動車道 30分	三条燕IC
大阪	名神高速道路 2時間	米原JCT	北陸自動車道 5時間45分	三条燕IC

交通と観光がワンセット

弥彦温泉と燕をつなぐ 観光タクシー



移動も観光も兼ね備えた「観光タクシー」がオススメ。道の駅やオープンファクトリー、史跡巡り、ラーメンなど、好みのプランを選択。最後は宿泊する弥彦温泉まで送迎してくれる。弥彦温泉から出発するプランもあるので、2日目以降も利用できる。料金は一人5000円から。詳しくは右のQRをチェック。



TSUBAME EVENT CALENDER 2024.9 ▶ 2025.3

9.14 15

戸隠神社秋季祭礼

地域と氏子が一つになり、子どもこしなどの巡行や舞踊も披露される。



9.16

GOOD MORNING COFFEE

吉田駅前、吉田の定期いちびると同時に開催。県内外の人気コーヒー店が集結する。



9.29

酒呑童子行列

日本三大妖怪「酒呑童子」が人々の心願成就を祈願。道の駅国上にて開催。



10.3-6

燕三条 工場の祭典

名だたる企業が一堂に工場を開放する4日間。ものづくりの現場を見学体験できる。



10.6

燕青空即売会

燕市物流センターに金属加工会社が一堂に集結。年に一度のビッグバザール。



10.19

おやこまんまるしゅ

子どもが作った雑貨を子どもが販売する。宮町商店街にある「まちトープ」で開催。



イベント
目白押し! Next Generation Town



10.13

燕農業まつりコラボ企画
つばめの「きゅうり」FESTA
in Next Generation Town

10.26 27
ハロウィンパーティ
in Next Generation Town

11.2 3 4
AII NIIGATA FOODIE EXPO
~クラフトビール~
in Next Generation Town

11.3

第3回 アベ祭り

粟生津駅近く AOUBEASEが舞台。地元食材を楽しめる年に一度のお祭り。



11.16

トコマルシェ

キッチンカーや地元クリエイターが集まって開催。朝市と一緒に盛り上げる



1.12

第18回 国上塞の神

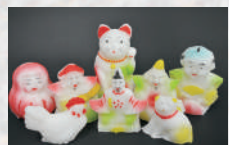
お正月に飾ったしめ縄や門松をお焚き上げ。五穀豊穡、無病息災を祈願。



2.25

越後つばめの天神講

学問の神様、菅原道真公を偲ぶ。市内のスイーツ店が色鮮やかなお菓子を用意する。



燕市役所
観光振興課

〒959-0295 新潟県燕市吉田西太田 2134
TEL:0256-92-1111(代) FAX:0256-77-8306
<https://www.city.tsubame.niigata.jp/>

一般社団法人
燕市観光協会

〒959-1263 新潟県燕市大曲 4330-1
TEL:0256-64-7630 FAX:0256-64-7638
<https://tsubame-kankou.jp/>

